

ねぎしょうちえんだより 2月号



伝承遊びのおもしろさ ～挑戦する楽しさ～

園長 大村 弘子

「コマ、回せるようになったから、見て」と、Aちゃんは手慣れた様子で紐を巻き、勢いよくコマを投げました。しかし、うまく回りません。「もう1回やってみるね」と再チャレンジです。すると、次は大成功し、うれしそうに私を見ました。「やったね。回ったね」と一緒に喜び合いました。もう一度やってみると、今度は回りません。Aちゃんは「いつも回るわけじゃないんだよ。」と言いました。私が「前より回せるようになったってことだよ。すごいよ。」と言うと、Aちゃんは大きく頷きました。そして、また何度も挑戦していました。少しずつ回せるようになってきていることを実感しているからこそ、「きっと、次は回る、と頑張れるし、それが楽しいのだと思います。手ごたえを感じることは意欲につながります。“以前の自分に比べて上達している、うまくできている”と感じると、うれしくなりやる気が出てきます。

さて、先日、幼稚園にコマ名人をお呼びしました。(HPに掲載しています) コマには様々な種類があり、回す技もいろいろあります。けん玉も同様です。名人の技は難しく、なかなかできそうにありませんが、コマを手にのせる技やけん玉の玉を小皿と中皿を交互に乗せる技のコツを伺い、やってみたくなりました。やってみたいと思う目標があること、コツを教えてもらうことも意欲につながりますね。

コマやけん玉など日本に昔からある玩具は、考えたり挑戦したりして、少しずつ変化させて遊べるものばかりです。幼稚園でもコマをトレイやお皿の中で回したり、積み木の板で作った坂の上で回し滑らせたりなど、工夫して楽しんでいます。自分で遊び方を工夫できること、様々な楽しさを見付けられることも意欲につながると思います。“次はこうしてみよう。どうなるかな、とワクワクした気持ちになり、試してみたくなりました。

昔から楽しまれている伝承遊びは、手ごたえ、目標、遊び方の工夫など楽しい要素が詰まったすてきな遊びだと思いました。しっかり受け継ぎ、遊ばないと、もったいないと思います。ぜひ、ご家庭でも楽しんでみてください。

今年度の登園日は30日あまりとなりました。子供たちが目標をもち挑戦して、できたという手ごたえを感じる経験を積み重ねさらに自信をもてるよう、一日一日を大切に過ごしていきたいと思っています。

